

道徳教育に係る評価の在り方に関する専門家会議(第5回)

道徳の時間における発達障害 のある児童生徒の指導と配慮

平成27年10月13日(火)
埼玉県熊谷市教育委員会
今村 美己・板倉 伸夫

道徳指導上の困難

【学習障害】

- * 情報の取り入れに得手・不得手がある。
- * 考えの表出に得手・不得手がある。

【注意欠陥多動性障害】

- * 情報の取り入れが断片的である。
- * 即、結論に至る。結論を知っていて話したい。

【自閉症スペクトラム障害】

- * 情報の取り入れが額面通りである。
- * 妥協案を納得しない。

等

道徳指導上の困難

- * 中学校の段階では、成功体験の少な
さから、自尊感情（自己肯定感）、自己
効力感や満足感、結果予期や効力予
期が低い場合がある。
- * 2次障害や不適応が強い。
- * 無力感が強い。

充実した道徳の時間にするために・・・

子供の心に響き、子供の心が動くような
道徳の授業が実施されていますか？

- ① 資料を提示する工夫
- ② 発問の工夫
- ③ 話合いの工夫
- ④ 書く活動の工夫
- ⑤ 表現活動の工夫
- ⑥ 板書を生かす工夫
- ⑦ 説話の工夫



小学校学習指導要領 解説より

【スキル学習】

役割演技や話し合い活動などの学習活動
を積極的に取り入れる。

子供たちが自分自身の問題として、
道徳的価値に深く共感

実践へ

**道徳的な判断力・心情・
実践意欲と態度の育成**

学習活動の見える化



【資料提示の工夫】

資料提示工夫の有効性

【学習障害】

- * 情報の取り入れに得手・不得手がある。
 - 聴覚からの情報を記憶することが苦手な生徒にとって、資料を視覚情報として提示することにより条件・状況が理解しやすくなる。

資料提示工夫の有効性

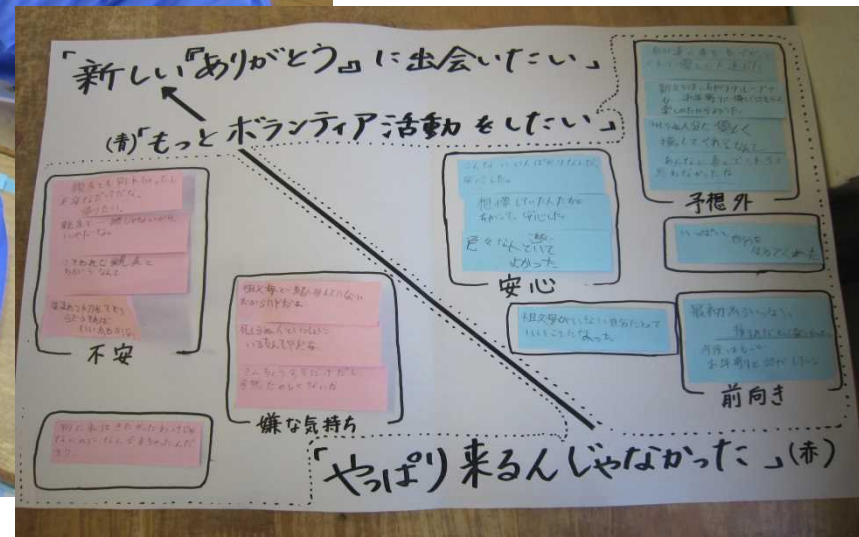
【注意欠陥多動性障害】

- * 情報の取り入れが断片的である。
- * 即、結論に至る。結論を知っていて話したい。
 - 具体的な資料を効果的なタイミングで提示することは、不注意や集中力の短い生徒にとって、主体的に取り組むことに効果的である。

心の変容の見える化



心の変容の見える化



【お互いの考えを視覚化して比較】

お互いの考えを視覚化して 比較することの有効性

【学習障害】

＊ 考えの表出に得手・不得手がある。

- 気持ちや考えを色や形に変えることにより、自分の気持ちが伝えやすくなる。
- 相手の気持ちや考えが理解しやすくなる。
- 自分の心と他の人の心が比較しやすい。

心情の変化の見える化



【構造的な板書】₁₂



構造的な板書の有効性

【発達障害のある生徒を含め、すべての生徒】

- 状況、場面毎に視覚教材やキーワードを
掲示することにより、心情の変化や流れ
(プロセス)が理解しやすくなる。
- 学習活動を振り返りやすくなり、内容の確
認、定着、深化が図られる。

表現活動の工夫



【役割演技】



役割演技の有効性

【自閉症スペクトラム障害】

- * 情報の取り入れが額面通りである。
- * 妥協案を納得しない。
- 立場を模擬体験することにより、他者がなぜそのような考えや行動したかが理解しやすい。
- 場面設定により、イメージしやすくなり、客観的に考える事ができる。

指導・評価の準備

- * 児童生徒一人一人の理解

(生活環境、経験、物事の理解、とらえ方等)

- * 客観的な実態把握の必要性

- * 自立活動の視点の導入

- * 個別の支援計画・指導計画の作成

- * お互いを認め合う学級経営

- * 多様な評価の必要性

- * 実生活と道徳的価値のズレ

評価について

* 生徒にとって

発達障害・情緒障害通級指導教室の自立活動の応用。

- 授業で使ったノートやワークシートが、自分(専用)の取扱説明書になるとよい。
- 自己・他者理解が深まることと、実践(日常生活)に役立つ。